

入院診療計画書  
(婦人科根治手術Bを受けられる方へ)

子宮全摘出術(準広汎または単純), 骨盤内リンパ節摘出, 多くは 卵巣卵管摘出(両側), 追加で 旁大動脈(腹部)リンパ節摘出, 大網切除術  
お名前(ご署名) 病名

項目	入院~手術前々日	手術前日	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8~9日目	術後10~14日目
	月 日 ~ 日	月 日	術前	術後 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
目標	患者状態	・手術に望む準備が整っている	・術後合併症なく経過できる										
	活動・安静		・下肢の運動ができる		・自力で座位がとれる	・自力で立位がとれる	・病室内歩行ができる ・残尿測定ができる					・退院指導が理解できる	
	教育・説明	・手術の準備が理解できる	・下肢の運動・体を動かす必要性が理解できる		・手術の経過が理解できる		・便通コントロール・骨盤底筋運動が実施できる						
1. 処置	身長・体重・血圧・脈拍・体温を測定します 呼吸訓練をします	呼吸訓練をします 手術部位の除毛をします 手術に必要な物品を準備します	【病棟】 朝採血をします 7時頃に浣腸をします 弾カストッキングをはきます 手術前にリストバンドを装着します 【手術室】 尿管を入れます 痛み止めの薬を背中に持続的に注入するチューブが入ります お腹に管が入ります	術後は首からも点滴をします 喉の痛みを楽にするために、トロンチを内服できます	採血検査の結果で心電図モニター・酸素などがはずれます 酸素をします 心電図モニターをつけます 血栓予防のため足に空気マッサージ機(フロ・トロン)をつけます	夕方までにガスがでなければ、ガスをやすくする注射をします	午前中に尿管を抜きます 手術後、一度も便が出ていなければ、眠前に下剤を内服しましょう	残尿測定を行いません	首の点滴、背中のチューブを抜きます 術後、排便がなければ浣腸をします	朝8時頃、抜鉤をします		この間に退院になります お腹の管のところを抜鉤します	
2. 与薬・点滴	就寝前に下剤を内服して下さい	15時にコップの下剤を飲みます 抗生剤のテストをします 21時に下剤を飲みます 寝る前に安定剤を内服して下さい	術前より点滴が始まります 手術室に行く前に抗生剤の点滴をします	[首から] 点滴は24時間あります 朝夕に抗生剤を点滴します	[首から] 点滴は24時間あります 朝夕に抗生剤を点滴します	[首から] 点滴終了後、血を固まりにくくする薬を通してキャップします 朝に抗生剤を点滴します 昼から整腸剤の内服が始まります	[首から] 本日で点滴は終わります						
3. 検査	随時、採血、検尿などがあります				血液検査があります							随時採血、検尿があります	
4. 食事	普通食または指示食	普通食または指示食 24時以降は絶飲食です	何も食べたり飲んだりできませんが、のどが渴くようならうがいはいかまいません	昼から水分がとれます 夕から3分粥が始まります	夕から5分粥になります	夕から全粥になります	夕から術前の食事に戻ります						
5. 活動・安静	病棟内は自由です			病室後2時間はベッド上安静です その後、足を動かしたり横を向いてみましょう	座りましょう	目まいがなければ立って歩いてみましょう	トイレまで歩きましょう	病棟内は自由です					
6. 清潔	入浴できます	除毛の後、入浴できます			蒸しタオルと白湯で洗面をします 看護師が身体を拭き替えて手伝います	蒸しタオルと白湯で洗面をします 看護師が身体を拭き替えて手伝います	蒸しタオルと白湯で洗面をします 身体と一緒に拭きましょう	自分で身体を拭きましょう	シャワーができます(お腹の管が抜けた翌日から) シャンプーができます				
7. 説明・指導	病棟内を案内します 骨盤底筋運動・呼吸訓練を説明します	看護師が手術前後の説明をします 手術承諾書を提出して下さい リストバンドに名前・生年月日を記入して下さい		手術後足を動かしたり、横をむくことで静脈血栓の予防になります	一人で座れるように練習しましょう	一人で立位がとれるように練習しましょう 床上での骨盤底筋運動を説明します	室内歩行しましょう 床上・立位での骨盤底筋を説明します 毎日行なっていきましょう 残尿測定についてパンフレットを用いて説明します	残尿測定は1日4回6時間毎に行ないます 残尿測定 0時 6時 12時 18時	退院日が決まると、医師・看護師から退院へ向けて退院指導があります 診断書・入院証明書が必要な方は、お申し出ください				

注1. 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わり得るものである。

注2. 入院期間については現時点で予想されるものである。

注3. 絵文字(ビクト著作権/ Copyright(c)2000sawamura)は沢村デザイン研究所の寄贈による